

令和 7 年度
二酸化炭素排出量調査

< 報告書 >

令和 8 年 6 月

瑞浪市

目 次

1. 調査目的	1
2. 調査対象および調査項目	1
3. 調査期間	1
4. 二酸化炭素排出量の算出方法	
(1) 燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量の算出方法	2
(2) 一般廃棄物（プラスチック）の焼却に伴う二酸化炭素排出量の算出方法	2
5. 燃料等使用量と二酸化炭素排出量	
(1) 燃料等使用量	3
(2) 燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量	4
6. 一般廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素排出量	5
7. 二酸化炭素排出量の削減状況	5
8. 今後の取り組み	6

1. 調査目的

本市では、地球温暖化対策のため「第4次瑞浪市地球温暖化対策実行計画」を定め、令和15年度末までに、公共施設からの二酸化炭素排出量を、平成25年度比で60%削減することを目標に掲げました。

本調査は、目標の達成状況を把握することを目的としています。

2. 調査対象および調査項目

46施設（表1）を対象に、電気、LPガス、灯油、A重油、ガソリン、軽油の使用量を調査し、二酸化炭素排出量を算出しました。

表1. 調査対象施設一覧

施設名			
本庁舎	大湫クリーンセンター	陶小学校	市民体育館
西分庁舎	総合消防防災センター	稲津小学校	市民野球場
保健センター	消防署陶分署	明世小学校	樽の上野球場
日吉コミュニティセンター	みどり幼稚園	日吉小学校	市民競技場
釜戸コミュニティセンター	一色幼稚園	釜戸小学校	市民テニスコート
大湫コミュニティセンター	瑞浪幼稚園	瑞浪中学校	窯業技術研究所
稲津コミュニティセンター	稲津幼稚園	瑞浪南中学校	稲津地域子育て支援センター※3
陶コミュニティセンター※1	陶幼稚園	瑞浪北中学校	
可燃物焼却施設	桔梗幼稚園	学校給食センター	
不燃物最終処分場	竜吟幼稚園	総合文化センター※2	
浄化センター	日吉幼稚園	化石博物館	
小田汚水中継ポンプ場	瑞浪小学校	市之瀬記念美術館	
土岐汚水中継ポンプ場	土岐小学校	陶磁資料館	

※1 陶コミュニティセンターは、どんぐり工房使用分を除く。

※2 総合文化センターは、市民図書館を含む。

※3 稲津地域子育て支援センター以外の支援センターは各幼稚園を含む。

3. 調査期間

令和7年4月～令和8年3月

4. 二酸化炭素排出量の算出方法

(1) 燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量の算出方法

$$[\text{二酸化炭素排出量}] = [\text{使用量}] \times [\text{二酸化炭素排出係数}]$$

表2. 燃料等の使用に伴う二酸化炭素排出係数

項 目	係 数		単 位
	R6 年度	R7 年度	
電気（中部電力ミライズ㈱）	0.421	0.411	kg-CO ₂ /kWh
電気（中部電力ミライズ㈱）CO ₂ フリー※ ¹		0.000※ ⁵	kg-CO ₂ /kWh
電気（関西電力㈱）	0.419	0.415	kg-CO ₂ /kWh
電気（関西電力㈱）CO ₂ フリー※ ²		0.000※ ⁵	kg-CO ₂ /kWh
電気（㈱エネット）※ ³	0.000※ ³	0.000※ ⁵	kg-CO ₂ /kWh
LPGガス※ ⁴	2.99	2.99	kg-CO ₂ /kg
灯 油	2.50	2.50	kg-CO ₂ /l
A 重 油	2.75	2.75	kg-CO ₂ /l
ガソリン	2.29	2.29	kg-CO ₂ /l
軽 油	2.62	2.62	kg-CO ₂ /l

資料：環境省 電気事業者別排出係数一覧、算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧

※¹一部の公共施設にて、令和7年4月より切替え。

※²一部の公共施設にて、令和7年4月より切替え。

※³一部の公共施設にて、令和6年1月より電力を購入。

※⁴用量の単位はm³となるため、2.183を乗じることで単位を kg に換算し、算出する。

※⁵非化石電気のため、排出係数が0。

(2) 一般廃棄物（プラスチック）の焼却に伴う二酸化炭素排出量の算出方法

$$[\text{二酸化炭素排出量}] = [\text{一般廃棄物焼却量}] \times [\text{可燃割合}] \times [\text{プラスチック割合}] \times [\text{二酸化炭素排出係数}]$$

(2.76 t-CO₂/t)

資料：算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧

※ 可燃割合、プラスチック割合は、過去3年間の平均値。

※ 光合成由来の CO₂（木質ペレット、紙等を燃やして発生するもの）に関しては、空気中の CO₂ が循環したとして算出しないものとする。

5. 燃料等使用量と二酸化炭素排出量

(1) 燃料等使用量

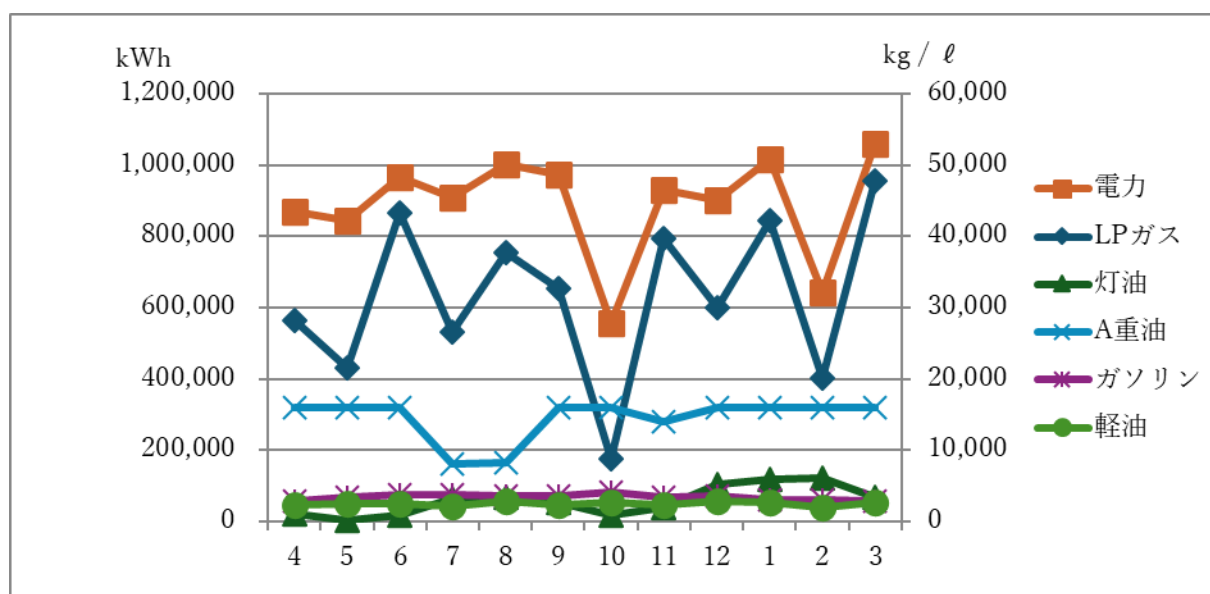
令和7年度の公共施設における燃料等使用量は、表3のとおりでした。燃料等の種別の使用量を平成25年度と比べると、電気△8.1%、LPガス△24.4%、灯油△53.4%、A重油△18.7%、ガソリン△32.0%、軽油△12.7%でした。

表3. 公共施設における燃料等の使用量

月	電気	LPガス	灯油	A重油	ガソリン	軽油
	(kWh)	(kg)※1	(ℓ)	(ℓ)	(ℓ)	(ℓ)
4	869,858	28,181	1,140	16,000	2,890	2,312
5	842,629	21,627	95	16,000	3,328	2,564
6	967,906	43,286	940	16,000	3,784	2,430
7	910,101	26,663	3,258	8,000	3,777	2,212
8	1,003,733	37,629	3,432	8,300	3,494	2,803
9	973,735	32,641	2,755	16,000	3,659	2,246
10	555,641	8,746	895	16,000	4,100	2,669
11	930,786	39,666	1,894	14,000	3,384	2,275
12	900,260	29,991	5,147	16,000	3,591	2,764
1	1,017,837	42,167	5,906	16,000	3,114	2,693
2	644,177	20,156	6,170	16,000	3,119	2,012
3	1,060,890	47,770	3,424	16,000	2,825	2,694
R7 計	10,677,553	378,524	35,055	174,300	41,065	29,674
H25 計	11,621,388	500,433	75,192	214,366	60,373	33,991
H25-R7	△ 943,835	△ 121,909	△ 40,137	△ 40,066	△ 19,308	△ 4,317

※ 従前、LPガスの単位はm³であったが、二酸化炭素排出係数の単位に合わせるために、kgに変更した。

グラフ1. 燃料等使用量



(2) 燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量

令和 7 年度の公共施設における燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量は、表 4 のとおりでした。燃料等の種別の二酸化炭素排出割合は、電気 44.6%、LP ガス 33.5%、灯油 2.6%、A 重油 14.2%、ガソリン 2.8%、軽油 2.3%でした。

表 4. 燃料等使用に伴う二酸化炭素排出量

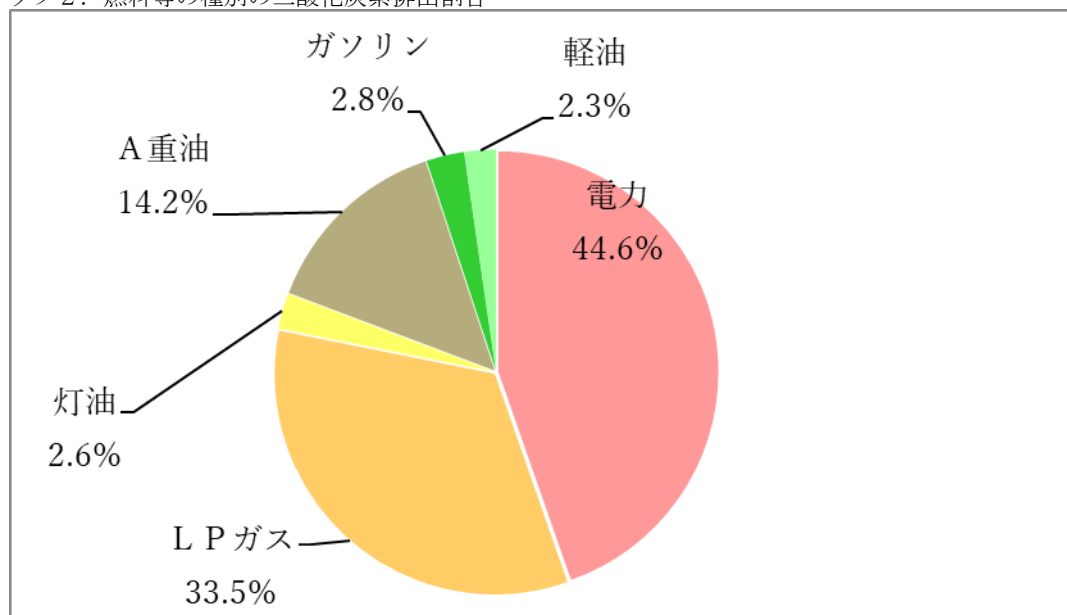
(t-CO₂)

月	電気	LPガス	灯油	A重油	ガソリン	軽油
4	212.2	84.3	2.9	44.0	6.6	6.1
5	208.8	64.7	0.2	44.0	7.6	6.7
6	235.0	129.4	2.4	44.0	8.7	6.4
7	181.8	79.7	8.1	22.0	8.6	5.8
8	238.7	112.5	8.6	22.8	8.0	7.3
9	218.0	97.6	6.9	44.0	8.4	5.9
10	80.0	26.2	2.2	44.0	9.4	7.0
11	27.5	118.6	4.7	38.5	7.8	6.0
12	32.7	89.7	12.9	44.0	8.2	7.2
1	31.2	126.1	14.8	44.0	7.1	7.1
2	32.8	60.3	15.4	44.0	7.1	5.3
3	27.4	142.8	8.6	44.0	6.5	7.1
R7 計	1,508.7	1,131.9	87.7	479.3	94.0	77.9
H25 計	6,019.9	1,501.3	187.2	580.9	140.1	87.7
H25－R7	△ 4493.8	△ 369.4	△ 99.5	△ 101.6	△ 46.1	△ 9.8

※電気については、電気事業者別の使用量にそれぞれの二酸化炭素排出係数を乗じて算出している。

※平成 25 年度の電気の使用に伴う二酸化炭素排出量が比較的多いのは、平成 25 年度の電気使用に伴う二酸化炭素排出係数（0.518）が令和 7 年度と比べ大きかったためである。

グラフ 2. 燃料等の種別の二酸化炭素排出割合



6. 一般廃棄物焼却に伴う二酸化炭素排出量

本市にて、令和7年度に主に一般家庭から回収された一般廃棄物処理状況は、表5のとおりで、一般廃棄物に含まれるプラスチックの焼却に伴う二酸化炭素排出量は4,427t・CO₂でした。平成25年度に比べると一般廃棄物焼却量は△21.0%でした。

表5. 瑞浪市の一般廃棄物処理状況

	H25 年度	R7 年度
一般廃棄物焼却量 (t)※	10,696	8,453
過去3年間の可燃割合 (%)	50.4	53.0
過去3年間のプラスチック割合 (%)	30.0	35.8
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	4,350	4,427
H25-R7 一般廃棄物焼却量 (t)		△2,243
H25-R7CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)		77

※一般廃棄物焼却量には、事業持込分及び汚泥を含まない。

※焼却に使用した燃料由来の二酸化炭素は含まない。

7. 二酸化炭素排出量の削減状況

公共施設における二酸化炭素排出量の削減状況は、表6のとおりでした。平成25年度に比べ、二酸化炭素排出量が39.5%減少しました。

令和6年度の二酸化炭素排出量9,801t・CO₂に対して、令和7年度の二酸化炭素排出量は、20.4%減の7,806t・CO₂という結果となりました。

その要因としては、昨年度に続き市内多くの公共施設で、二酸化炭素排出係数0の再エネ電気への切替えを行ったことが考えられます。

表6. 公共施設における二酸化炭素排出量の削減状況

(t-CO₂)

排出量実績				目標値	
H25年度	R6年度	R7年度	削減率(H25年度比)	R15年度	削減率(H25年度比)
12,896	9,801	7,806	39.5%	5,158	60%

8. 今後の取り組み

「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（通称：省エネ法）では、電気、ガス、灯油、A重油などのエネルギーを起源とするエネルギー消費原単位を、年平均1%以上低減するように努めなければならないことが定められています。

より一層こまめな消灯やエレベーターの使用抑制などの省エネの推進、電気自動車やハイブリッド車の積極的な使用、自動車の急加速の抑制やアイドリング・ストップなどエコドライブの推進等に取り組んでいきます。また、「COOL CHOICE」等の地球温暖化対策事業にも積極的に参加し、二酸化炭素排出量の削減に今後も取り組んでいきます。

一般廃棄物の焼却に伴う二酸化炭素排出量については、ごみ、プラスチック類の焼却量削減のため、広報を利用したごみ減量の啓発活動や、資源ごみの分別徹底などの取り組みを継続し、ごみの削減を推進していきます。

<用語説明>

用語	ヨミ	説明
CO ₂	シー・オー・ツー	二酸化炭素
kg-CO ₂	キログラム・シー・オー・ツー	1kg の二酸化炭素を表す単位
t-CO ₂	トン・シー・オー・ツー	1t の二酸化炭素を表す単位
kWh	キロ・ワット・アワー	1kW の電力を 1 時間使用した時に消費される電気量を表す単位
エネルギー消費原単位	エネルギー・ショウヒゲンタンイ	エネルギー使用量をエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した数値でエネルギー使用の効率を表す

令和7年度 二酸化炭素排出量調査 <報告書>

発行 令和8年6月

編集 瑞浪市経済部環境課
瑞浪市上平町1丁目1番地

TEL：0572-68-9806（直通）